

編集後記

平成24年度は、遅々として進まない震災からの復興や原発問題、さらにはなかなか収束しないユーロ危機など、暗いニュースが多い中、10月には京都大学山中教授のノーベル賞受賞という、明るい話題もありました。日本人として誇りに思うと同時に、昨今、大学への風当たりが強いことは身にしみて感じているところでしたが、このニュースには同じ大学人として大いに鼓舞されました。

山口研究機構長による巻頭言にもあります通り、「埼玉大学強化戦略」を軸とした精力的な大学改革により、本学の「かたち」も大きく変貌しようとしています。それに伴い、教育・研究環境の充実に向け、科学分析支援センターの果たすべき役割もさらに増していくものと痛感しております。

平成24年度、当センターでは大きなメンバーの異動がありました。理工学研究科小林秀彦教授がセンター長として着任されました。また、前年度末に退職された中村市郎助教に代わり、新任の道村真司助教が業務を引き継ぎました。特に小林先生は当センターの前身である「分析センター」設立の時から陰に日向にご尽力下さってきたと伺っており、スタッフ一同、心強く感じている次第であります。

末筆とはなりましたが、お忙しい中、ご寄稿の依頼に快く応じていただきました皆様には、深くお礼申し上げますとともに、ますますのご健康とご発展をお祈りします。また、本機関誌発刊に当たり、レイアウト・編集作業、さらに印刷業者との連絡などは、新美智久技師および高岸昌弘技術補佐員が引き受けて下さいました。深く感謝いたします。

(文責 是枝 晋)

CACS FORUM

埼玉大学研究機構 科学分析支援センター機関誌

No. 4 2013. 12

発行者 埼玉大学研究機構 科学分析支援センター

さいたま市桜区下大久保255

URL <http://www.mlsrc.saitama-u.ac.jp/>

TEL 048(858)3670 (ダイヤルイン)

FAX 048(858)3707

印刷所 文進堂印刷株式会社

さいたま市岩槻区仲町1-10-13